

PCSAアクションレポート（研究部会編）

平成28年3月版

第124回コスト問題研究部会	
開催：	平成28年3月10日（木） PCSA会議室
出席人数：	担当理事1名、正部員4名、正会員企業オブザーバー1名、賛助部員2名、 合計8名
出席者リスト：	担当理事
	荒俣 伸一 株式会社ボネール
	リーダー
	佐藤 千恵 株式会社セントラル伸光
	正部員
	呉 允博 株式会社日本ヒュウマップ(ダイナムグループ)
	新井 弘光 株式会社パンドラ(アメニティーズ)
	原田 明光 株式会社三永
	賛助部員
	小林 不二雄 株式会社ユーギシステム
	栗山 明 グローリーナスカ株式会社
	正会員オブザーバー
	堀 文仁 株式会社日本ヒュウマップ
討議事項：	1) 説明会「遊技機、設備等の割賦販売のご紹介」
	講師：株式会社日本ヒュウマップ
	経営管理部 金融事業 担当部長 堀 文仁 様
	中古遊技機導入時に活用出来る割賦契約、遊技機レンタル、社員向け自動車リース等についてご説明頂いた。特に遊技機レンタルではレンタル料を経費とする事で期末の経費コントロールが可能といったメリットがあげられた。又、社員向けの自動車リースでは、個人では与信の点で難しいリースだが間に日本ヒュウマップが入ることで与信問題を解決、更に大口の取引とする事でコストも非常に下げられる点を説明頂いた。
	2) 企業トピック 「カードシステム使用料について」
	システム使用料のコスト削減の為5つのホール企業にアンケートをし、コイン方式、プリペイドカード方式、第三者発行型、認証協などそれぞれのメリットデメリットを比較検討した。同様に個別の設備メーカーに関する相性問題、リースの有無、特徴などについて情報を交換した。結論としてカードシステムのコストが企業や店舗、導入年度によってバラバラであるの為、定期的なコストの見直しを今後も継続すべきだと締めくくった。
	3) 近況報告
	第2次遊技機の撤去回収リスト、第1次撤去回収リスト遊技機の撤去予定、既に撤去を開始したホール等について情報を交換した。他に、ECO遊技機の現状、遊技機取扱主任者の試験の混雑ぶり、タバコの値上げと値上がり時の旧価格と新価格の混在による煩雑さ、制服クリーニングの回数変更、メーカーが異なるホールコンピューターの数値のずれとその修正作業、中期計画策定、自動販売機相見積もり、立体駐車場エレベーター警備のコストの下げ方、置き引き対策に有効な施策、新たなPB景品の導入などについて、各々の近況や情報を報告した。
	4) 拡大部会開催について
	全国に出店を続けているホール企業の新規出店地の沖縄。並びに正会員企業の活躍が聞こえる滋賀を候補地として検討した。訪問に際して先方への訪問依頼書を発信が決定された。また、拡大部会での1日目2日目のスケジュール概要も取り決められた。
	次回開催
	平成28年4月14日（木） 午後1時～午後5時
	PCSA会議室にて